

藤田学院 (ToCoToN FAST)

鳥取短期大学、鳥取看護大学の学生が
所属する消防防災サークルの取り組みを紹介します。

展示物(パネル) ○一日消防隊

○防災研修受の様子など

鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生の、消防防災意識の向上と将来の地域消防防災リーダーなどの人材養成を目的として日々活動している消防防災サークル「ToCoToN FAST」※（トコトンファスト）の取り組みを紹介します。

※Tottori College & Tottori College of Nursing Fire And Safety Team



倉吉消防署から1日消防隊に任命され、消防士の皆さんの協力のもと、担架やストレッチャーの使用法を学びました。



その後は、キャンパス内での防災訓練を実施し、実際に放水などを体験しました。



本学が位置する倉吉市のハザードマップなども見ながら、日頃から危機意識を持つことの大切さや自分の身は自分で守る「自助」の重要性などを再確認しました。

非常食のアルファーマの試食も行いました。



お揃いのToCoToN FASTのベストを着用し、防災に関するクイズやクロスロードゲーム、非常食の試食などを交えながら、楽しく防災について学ぶ研修を行いました。



水で作るカップラーメンにも初挑戦しました！



日本赤十字社鳥取県支部では、近年多発する災害に対して、医療救護班を現地派遣して保健・医療・衛生の提供や救援物資の配布、ボランティアによる炊出し等の支援を実施しています。日赤の医療救護班が現地で活動するための資機材や東日本大震災で活動した写真等を紹介します。



救援物資（毛布、緊急セット、安眠セット）

避難所等に配布します。緊急セットには携帯ラジオ、衛生材料が収納されています。安眠セットには簡易ベッドやスリッパ等が収納されています。



災害現場で使用する資機材
(酸素、ベッドサイドモニター)

主に救護所やSCU、医療機関で使用されます。病院内で使用する医療機器と異なり、全国の災害に持ち運べるよう携帯型の仕様となっています。



災害現場で使用する資機材
(ビデオ喉頭鏡、吸引機、携帯型超音波器、除細動器)

主に救護所やSCU、医療機関で使用されます。病院内で使用する医療機器と異なり、全国の災害に持ち運べるよう携帯型の仕様となっています。



災害現場で使用する資機材
(衛星電話、トリアージタグ)

災害時は固定電話や携帯電話が不通になることが予測されるため、地上の通信網に頼らない衛星電話での通話が役立ちます。また、通話以外にインターネット環境の構築も可能です。多数の傷病者が発生した際には、重症度の高い傷病者から診療にあたり、救える命を救うためのトリアージが実施されますが、その際に使用するのがトリアージタグです。救護班が記載して、基本的には傷病者の右手首に付けます。



災害現場で使用する資機材
(標準診療セット)

診療セット、蘇生・外科セット、薬品セット、事務用品セット、携帯型医療セットの5種類があり、災害の種別や派遣時期によってどれを持参するか選定したり、追加の資機材を準備します。



災害現場で使用する資機材
(標準診療セット)

診療セットには、診療用具や消耗品が収納されています。蘇生・外科セットには蘇生用具や挿管用具、カテーテル類、治療用具が収納されています。



災害救護活動パネル

東日本大震災では日赤の医療救護班を計10班、現地派遣しました。
実際に派遣救護員が撮影した写真や活動の動向がわかる資料となります。



非常食

救護班は現地の飲食料や宿泊施設を使用せず、自己完結する必要があるため、電気やガス等が無くても暖かいカレーや牛丼が作成できる災害用の非常食を持参します。